

## 鶴嶺東地区まちぢから協議会会議報告書

部会名	防災減災部会	会議名	第7回会議		
日付	令和6年1月19日	場所	鶴嶺東コミセン	記入者	浦賀 伸幸
<b>&lt;主な内容&gt;</b>					
議題1 令和5年度合同防災訓練についての報告					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治会より、合同防災訓練の結果および課題について報告した。</li> <li>・円蔵： 鶴が台中学校において、地域住民の参加率が低かった。</li> <li>・矢畑： 安否確認スマホアプリを活用しはじめ、住民からも役に立つとの感想あり。 避難所の場所が遠い、災害時に避難できるか不安、といった感想もあり。</li> <li>・西久保： タオル掲出世帯が50%を切るなど、事前に周知したが参加率が低かった。 防災ポスターの回覧など、日頃からの啓蒙活動にも力を入れていく。</li> <li>・浜之郷： 安否確認シートの記入報告形式を採用しているが、記入に不慣れな人が多かった ことから簡素化を進めている。 合同訓練の避難所への参加者が少なかった。 消火器設置場所確認といった浜之郷自治会独自で身近な訓練を希望する意見あり。</li> <li>・下町屋： 黄色いタオルの掲出方式で安否確認を実施したことは、住民からも好評であった。 要支援者の安否確認についても、注力していきたい。</li> <li>・TBS： 要支援者の安否確認の聞き取りで、防災無線が聞こえないとの意見があり、ラジオ等 周知手段の必要性を感じた。 防災リーダーから訓練内容充実化の要望あり。</li> <li>・サニータウン： 扉のマグネットシート貼付方式で、自治会会員以外も安否確認に参加した。 電源ブレーカを落として夜間の停電想定下での防災対策本部設営訓練を実施した。 被災時のウィークポイントについて、今後対策を検討していく予定。</li> <li>・ホームタウン： 防災ラジオを活用し、受信後に自主的に集合する方式で訓練を実施した。 被災時に参加できる人だけで初動の活動ができる体制を整えている。</li> <li>・アイランド： 安否確認参加率が下降傾向にあるので、参加率を向上させたい。 3月に消火訓練や起震車体験を通して、住民への意識向上を図る予定。</li> <li>・全般的な意見 もっと多くの人に参加してほしい。トイレの説明はよかった。</li> <li>・今後の課題となる意見 避難所についてもっと詳しく知りたい。 防災備品を展示してほしい。 実技訓練をやってほしい。 地震と水害を区別して訓練してほしい。 働いていて地元にはいない住民の安否確認をどうするのか、今後の検討課題となる。</li> </ul>					
以上					
<b>&lt;次回の予定・内容&gt;</b>					
令和6年2月16日（金）					
<b>出席者：</b>					
高橋 夏木（矢畑）、		吉野 浩二（矢畑）、		浦賀 伸幸（西久保）	
森谷 義明（円蔵）、		石井 浩（西久保）、			
粕谷 勉（浜之郷）、		浪越 哲也（浜之郷）、		内藤 一夫（下町屋）	
杉村 一憲（TBS）、		吉原 弘子（TBS）、		岩田 明（サニータウン）	
入沢 孝（ホームタウン）、		嵩 比呂志（ホームタウン）、		坪井 一樹（アイランズ）	
尾坂 清（鶴嶺東コミセン）、					
清水（市民自治推進課）					
出席者計：16名（敬称略） 順不同					